

## 第8波流行前に知りたい国産除菌水「次亜塩素酸水」の歴史

# 世界を救う 日本で生まれた除菌水 「次亜塩素酸水」 ～葛藤と苦悩の歴史～

2022年11月29日発行

株式会社あさ出版(代表取締役:田賀井弘毅、所在地:東京都豊島区)は内海 洋著『世界を救う 日本で生まれた除菌水「次亜塩素酸水」～葛藤と苦悩の歴史～』を2022年11月29日(火)に刊行いたします。

### コロナ禍で注目を集めた「次亜塩素酸水」

新型コロナウイルスを不活化する除菌水として注目を浴びた「次亜塩素酸水」、正式には、電解無塩型次亜塩素酸水(三室型)。この次亜塩素酸水は、人や環境には無害でありながら、ウイルスや菌を破壊する除菌水で、現在、世界的にも注目を浴びています。しかし、今日に至るまでの過程では多くの苦難がありました。本書は、この電解無塩型次亜塩素酸水誕生からの歴史と、変異株不活化のデータなど、最新のエビデンスなどをまとめた1冊。除菌についてより深く理解することができます。

タイトル:世界を救う 日本で生まれた除菌水「次亜塩素酸水」～葛藤と苦悩の歴史～

ページ数:224ページ

著者:内海 洋

価格:1,650円(10%税込)

発行日:2022年11月29日

ISBN:978-4-86667-413-1

### 【目次】

第1章 コロナ禍で注目を集めた「次亜塩素酸水」

第2章 国産除菌水「電解無塩型次亜塩素酸水」の誕生

第3章 次亜塩素酸水の復興

第4章 次亜塩素酸水が世界を救う

付録 データ集

### 【著者プロフィール】

内海 洋(うちうみ・ひろし)

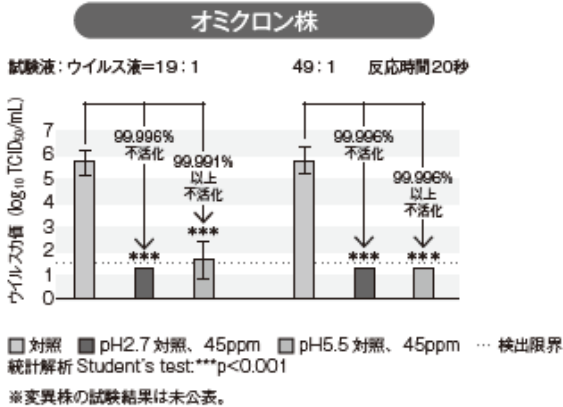
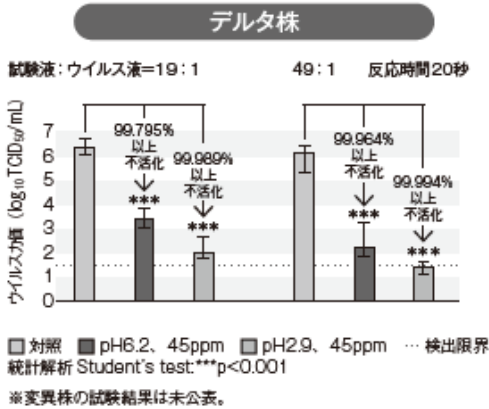


株式会社アクト代表取締役社長。1958年生まれ。北海道小樽市出身。釧路高専卒業後、北海道ヤンマー等を経て、1997年に有限会社アクト設立、2000年5月より現職。アクトは、農林水産・食品産業技術振興協会・民間部門農林水産研究開発功績者表彰(2015年)、発明協会・北海道地方発明表彰北海道知事賞(2017年)、経済産業省・第7回ものづくり日本大賞ものづくり地域貢献賞(2018年)など受賞多数。また、2018年には経済産業省・地域未来牽引企業にも選定されている。



オミクロン株不活化など最新データ満載

農業分野での利用が進んでいる



アクトが誇る農業施設の消毒システム①



マットで靴裏を消毒



牛の蹄を消毒



ブーツを入れるだけで消毒できる

2000年当時のパンフレットに書かれていた「予言」とは？

「次亜塩素酸水」開発者である佐野洋一氏

電解水生成装置

# ファインオキサー

FINE OXER 無塩タイプ 連続運転

強い除菌力を持った水を生成する理想的な装置！

理想的とは

- 塩分を含まない強酸性電解水
- 電気使用量は電球1個分
- 生成水のコストはほとんど水代
- 電極にスケールを付着させない技術
- コンパクトで外付け電源は不要

はS.Patent 5,674,365  
EU Patent EP0723936A2  
【国内特許出願中】

開発者より

この度、強酸性電解水生成装置ファインオキサーを世に問うことになりました。21世紀、人類はますます狭くなる東南との壮絶な戦いとなります。また、環境汚染もさらに深刻な事態となります。強酸性電解水はこれらの問題解決に役立つ素晴らしい水であり、既に多くの有力企業が導入しております。しかし、弊社は最先端の水の電気分解技術をベースに、独自の電極技術を組み合わせる事で「理想的」な装置を完成いたしました。パンチャースピリットで挑戦する弊社の技術をご確認いただき、ご採用賜りますようお願い申し上げます。

ファースト・オキシゼン株式会社  
代表取締役 佐野 洋一



左より佐野弘久さん、佐野洋一さん、エレクトライザー社役員